

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】平成29年10月12日(2017.10.12)

【公表番号】特表2016-532601(P2016-532601A)

【公表日】平成28年10月20日(2016.10.20)

【年通号数】公開・登録公報2016-060

【出願番号】特願2016-543388(P2016-543388)

【国際特許分類】

B 6 0 N 2/28 (2006.01)

【F I】

B 6 0 N 2/28

【手続補正書】

【提出日】平成29年9月1日(2017.9.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

車両の子供用安全シート(1)であって、少なくとも1つのIsophコネクタ(5)が設けられるベース(2)、並びに、着座セクション(3)及び背もたれセクション(4)を含む子供用シート(5)を備え、該子供用安全シート(1)は正面プレース(6)を更に備え、該正面プレース(6)は、ボルト(23)を中心に回動可能な解除ハンドル(9)、及び、ボルト(22)を中心に回動可能な、少なくとも1つのピン(11)が設けられている回動要素(10)を含む調整機構(8)によって子供用シート(5)に対して回動可能であり、前記解除ハンドル(9)及び前記回動要素(10)は、接続要素(12)によって互いに更に接続され、前記解除ハンドル(9)は前記少なくとも1つのピン(11)を作動させるのに用いられることを特徴とする、子供用安全シート。

【請求項2】

子供用安全シート(1)であって、前記正面プレース(6)は前記ベース(2)に解放可能に接続されることを特徴とする、請求項1に記載の子供用安全シート。

【請求項3】

子供用安全シート(1)であって、該子供用安全シート(1)は床支持体(7)を更に備えることを特徴とする、請求項1に記載の子供用安全シート。

【請求項4】

子供用安全シート(1)であって、該子供用安全シート(1)は2つのガイド要素(13)を更に備え、該ガイド要素(13)のそれぞれには、該ガイド要素(13)の長さにわたって複数の離間した穴(14)が設けられ、該ガイド要素(13)は前記ベース(2)のフレーム(16)に接続されることを特徴とする、請求項1又は2に記載の子供用安全シート。

【請求項5】

子供用安全シート(1)であって、該子供用シート(1)は2つのガイド要素(13)を更に備え、該ガイド要素(13)のそれぞれには、該ガイド要素(13)の長さにわたって複数の歯(14)が設けられ、該ガイド要素(13)は前記ベース(2)のフレームに接続されることを特徴とする、請求項1又は2に記載の子供用安全シート。

【請求項6】

子供用安全シート(1)であって、前記正面プレース(6)は、前記ガイド要素(13)

を摺動可能に受け入れるように適合されている 2 つの中空の棒（21）を備えることを特徴とする、請求項 1～5 のいずれか一項に記載の子供用安全シート。

【請求項 7】

子供用安全シート（1）であって、前記少なくとも 1 つの I s o f i × コネクタ（5）は I s o f i × コネクタフレーム（17）に接続されることを特徴とする、請求項 1～6 のいずれか一項に記載の子供用安全シート。

【請求項 8】

子供用安全シート（1）であって、該子供用安全シート（1）は、前記 I s o f i × コネクタ（5）の調整機構（18）を更に備えることを特徴とする、請求項 1～7 のいずれか一項に記載の子供用安全シート。

【請求項 9】

子供用安全シート（1）であって、前記調整機構（18）は、ピン（18C）を含むレバー（18B）に接続される押しボタン（18A）を備え、前記レバー（18B）はボルトに回動可能に接続されることを特徴とする、請求項 8 に記載の子供用安全シート。

【請求項 10】

子供用安全シート（1）であって、前記中空の棒（21）の上面には穴（25）が設けられることを特徴とする、請求項 6 に記載の子供用安全シート。

【請求項 11】

子供用安全シート（1）であって、前記 I s o f i × コネクタフレーム（17）は、2 つの棒（17A）及び横棒（17B）を含むことを特徴とする、請求項 7 に記載の子供用安全シート。

【請求項 12】

子供用安全シート（1）であって、前記棒（17A）の上面には複数の離間した孔（19）が設けられることを特徴とする、請求項 11 に記載の子供用安全シート。